

2025年5月22日

廃棄衣料を新たな資源にする
アップサイクル L[∞]PLUSの取り組み

◀ KURABO

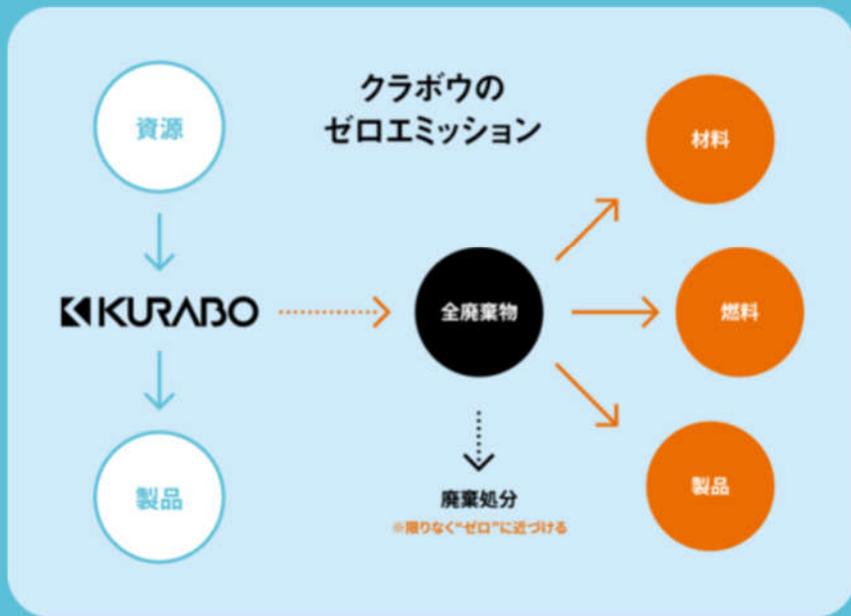
倉敷紡績株式会社 萩本 千夏

クラボウの環境負荷軽減への取り組み



クラボウは人・社会・地球の健やかな環境を考える「ヒューマン・フレンドリー発想」を原点にすえ、商品ライフステージ全体を通して、環境負荷低減を実現していきたいと考えています。

全社でゼロエミッションプロジェクトを推進、
大阪本社・東京支社や
全7工場・グループ27事業所で達成



主な製品・技術





再資源化プロジェクト
生まれの素材
L∞PLUS (ループラス)

アパレル・産地との協働

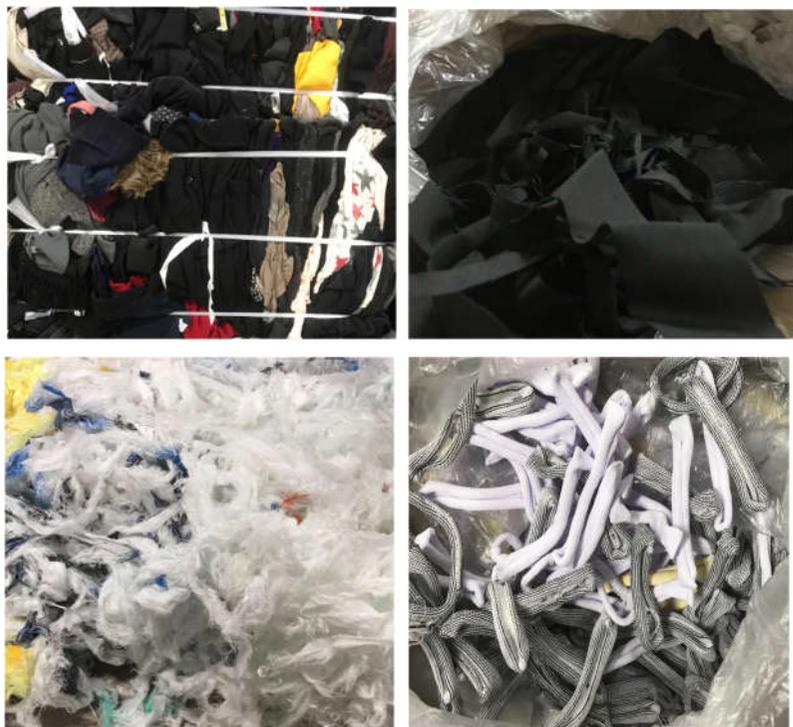
“もったいない”から生まれた
“もつといい”



Looplus
ループラス

● リサイクルの方法

廃棄衣料・生産工程ロス



① ケミカルリサイクル

廃棄物に化学的な処理をして原料に戻してからリサイクル

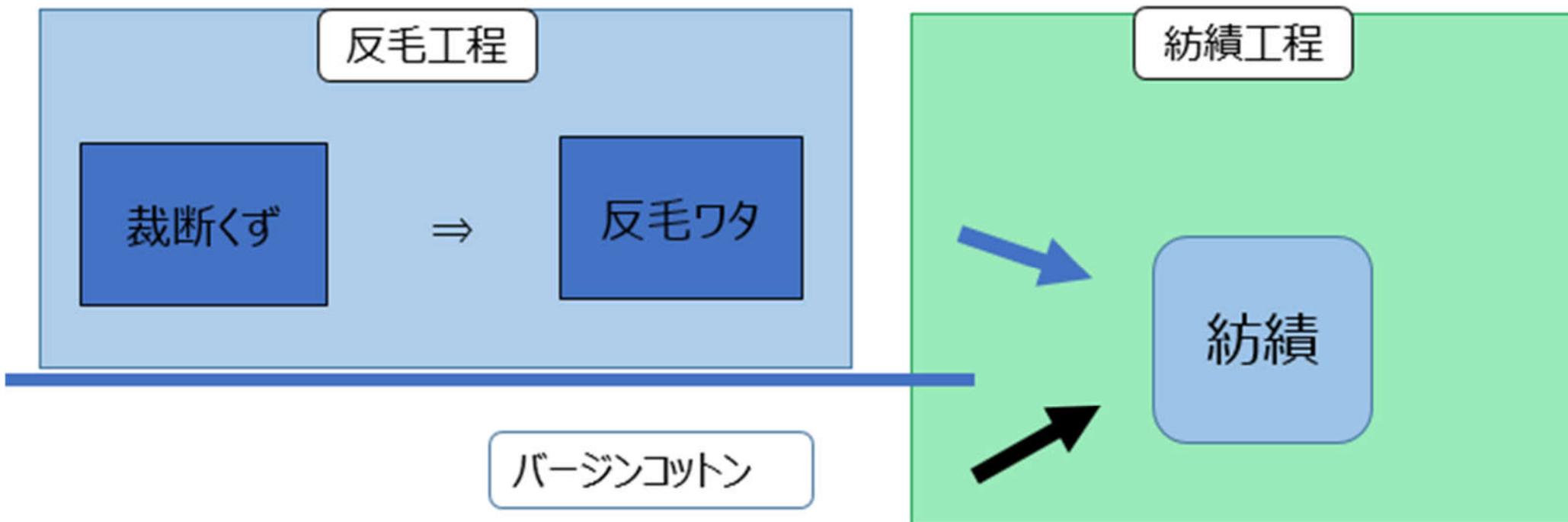
② マテリアルリサイクル

廃棄物を原材料として再利用する
“反毛”技術を選択した

③ サーマルリサイクル

焼却した際に発生する熱エネルギーを回収し利用する

● L[∞] PLUS 系 紡績工程



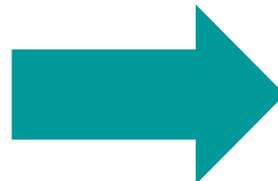
反毛ワタ

製品/裁断屑を砕き反毛しワタ状態に戻されたもの

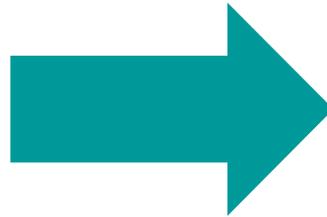
裁断屑/生地



反毛ワタ



反毛ワタ



ユニークな色・風合い



●反毛ワタ作成実績

	反毛ワタ実績
タオル生地	○
カラーパンツ ストレッチ生地	○
ニット生地	○
デニム生地	○
ユニフォーム生地	○

国内での最初の取り組み

EDWINのデニム裁断屑を再利用したUPCYCLING SYSTEM



Looplus
×
Denim

EDWIN縫製工場より
裁断くずを受け取る。



安城工場で裁断くずを
反毛・開織し再び糸にする。



協力工場で染色、製織、加工
仕上げを行い、縫製工場へ。



製品の縫製を行い、市場へ。

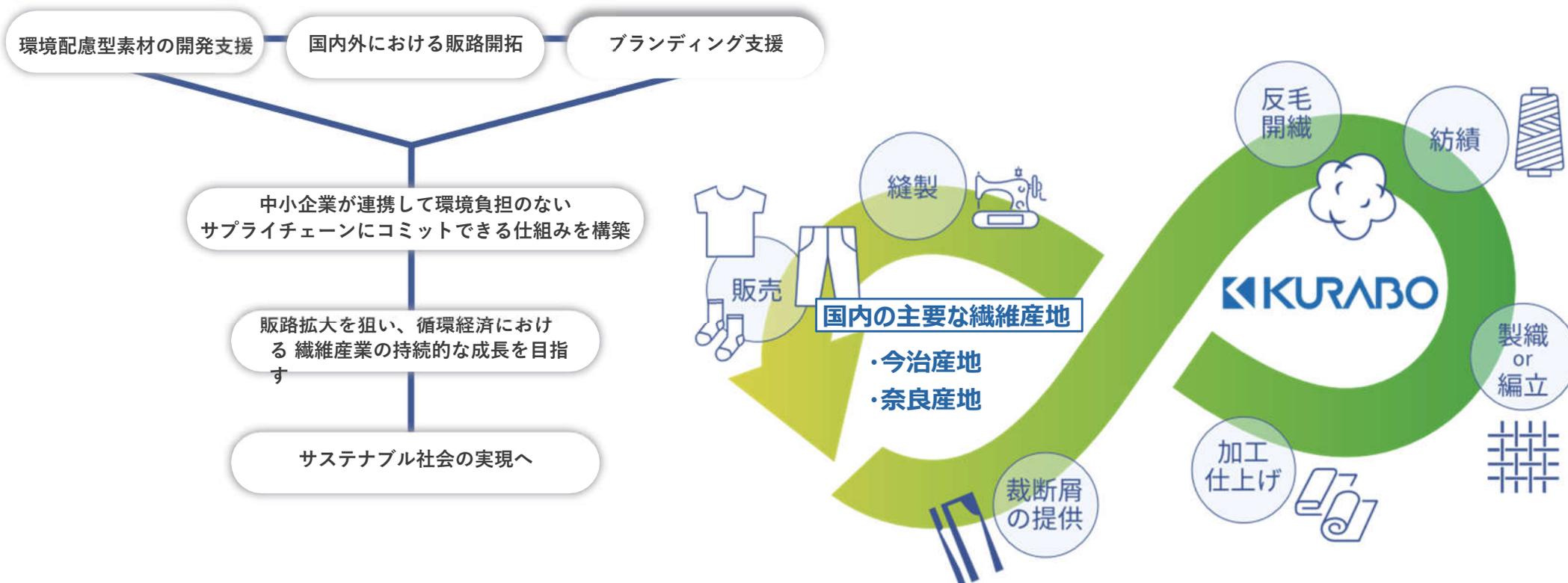


国内の各産地との取り組み

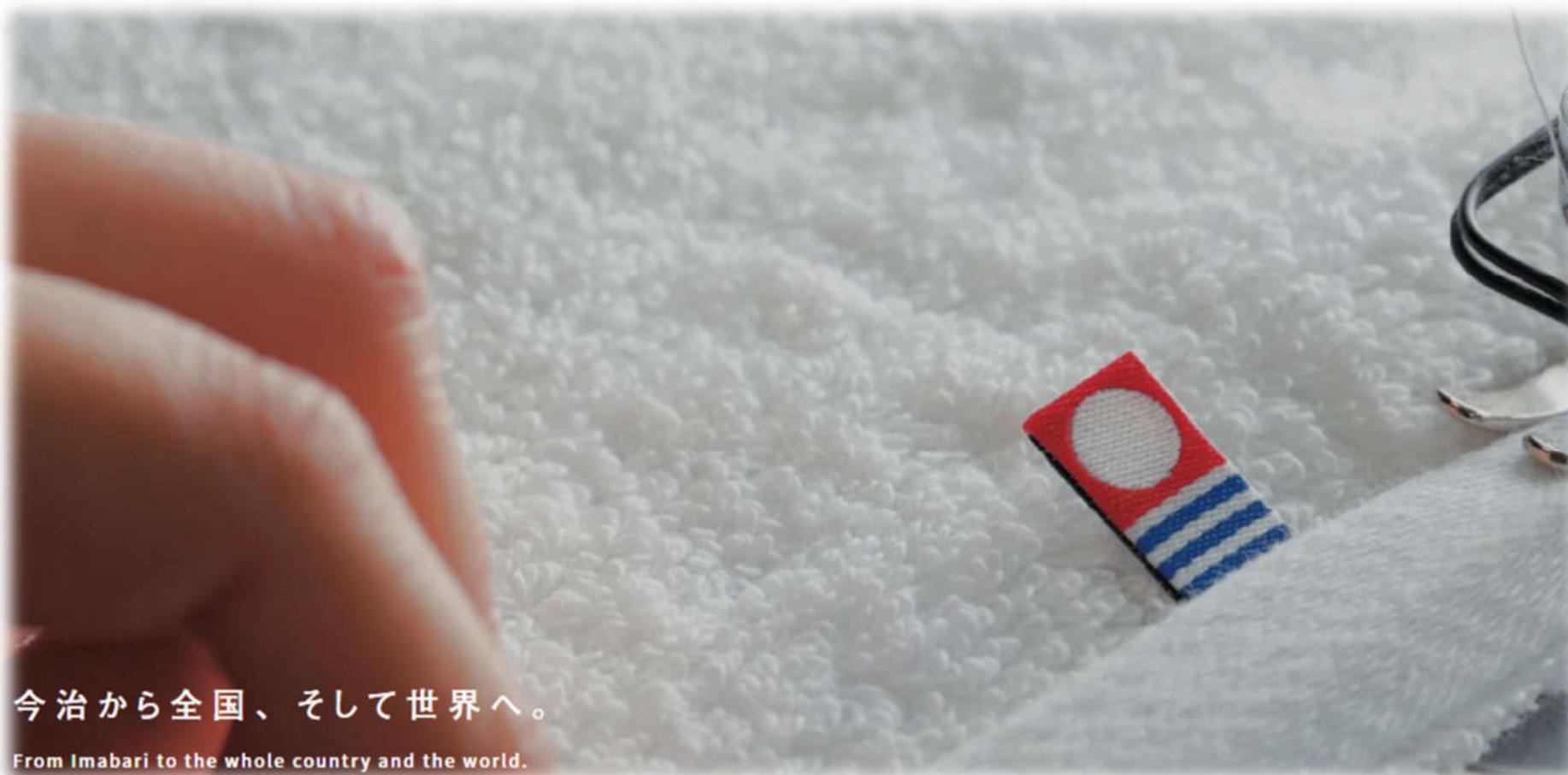
繊維産地との取り組み

環境配慮型素材の商品開発支援と生産の協業について - 私たちは日本の繊維産業を応援します。 -

クラボウは、長年蓄積してきた環境配慮型素材の生産～販売に関わる知見とネットワークを活かして、中小企業の環境配慮型のモノづくりへの転換を支援することが使命であると考え、国内の主要な繊維産地と本事業を立ち上げました。



各繊維産地との取り組み



今治から全国、そして世界へ。

From Imabari to the whole country and the world.

各繊維産地との取り組み



再資源化



各繊維産地との取り組み



奈良県靴下工業協同組合



奈良県は
日本一の
靴下生産地



最高にプレミアムな靴下を奈良から

消費者ニーズをカタチにしながらファンを増やす、双方向型企画の靴下ブランド誕生

[商品アイテム一覧 >](#)

各繊維産地との取り組み



奈良県靴下工業協同組合 端材/C品のアップサイクル



端材

再資源化



各繊維産地との取り組み

公益財団法人 北播磨地場産業開発機構



HOME > 播州織とSDGs

自然との共生をテーマに、播州織は「8 GOALS」に取り組んでいます

播州織のものづくりには、自然との共生が不可欠です。
産地ではずっと以前から、環境保全に尽力しながら播州織をつくり続けています。

- | | | | |
|--|--|---|--|
| <p>7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに</p>  | <p>8 働きがいの
経済成長も</p>  | <p>9 産業と技術革新の
基盤をつくらう</p>  | <p>11 住み続けられる
まちづくりを</p>  |
| <p>12 つくる責任
つかう責任</p>  | <p>14 海の豊かさを
守ろう</p>  | <p>15 陸の豊かさも
守ろう</p>  | <p>17 パートナーシップで
目標を達成しよう</p>  |



各繊維産地との取り組み



端材/サンプル反のアップサイクル



再資源化



製品回収L ∞ PLUS

服を手放す手段の分布

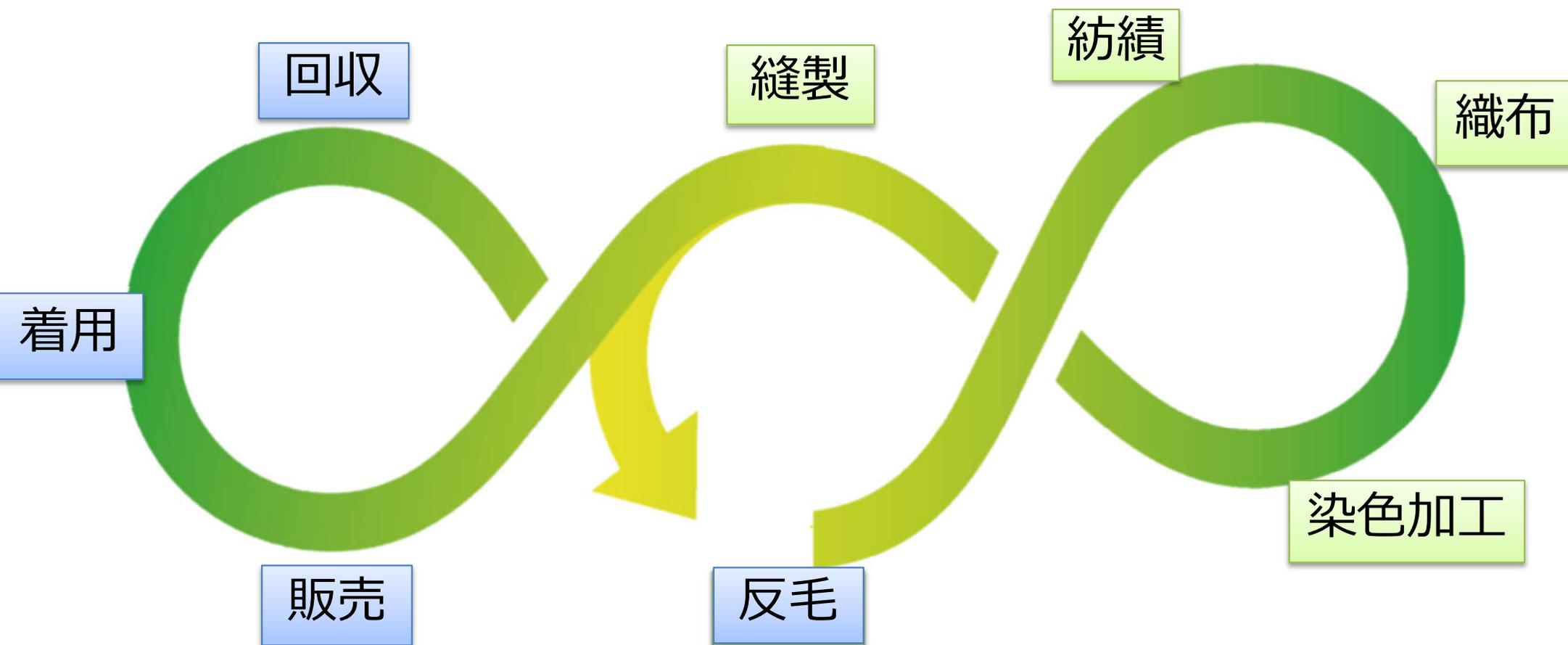


再資源化を検討

【環境省WEBページ】

中古衣料を回収し循環利用して新しい価値を創造する。

♻️ L∞PLUS



シーホース三河様との取り組み事例

「青援LOOP」プロジェクト



■ 「青援LOOP」プロジェクトロゴ



■ シーホース三河の応援の様子 ※イメージ

Bリーグ所属のプロバスケットボールチーム『シーホース三河』を応援するファンの皆様から、**使用しなくなったTシャツやタオルなど**の繊維製品を回収。地元の企業のサポートと協力によって選別と付属品の除去を行って生地だけにして『L∞PLUS』の糸に再資源化し、新たな応援グッズに生まれ変わらせています。想いがこもった**応援グッズを捨てるのではなくループさせる**ことで、チームの勝利を願う声援を倍にして選手たちに届けています。

シーホース三河様との取り組み事例

「青援LOOP」プロジェクト



- ・シーホース三河ブースターの皆様から使用しなくなった応援グッズ（Tシャツ、タオルなどの繊維製品）を会場などで回収
 - ・安城市社会福祉法人「ぬくもり福祉会」にて安城スタイルサポートのもと、選別と付属品の除去
 - ・クラボウ安城工場でL∞PLUSの糸として再資源化
 - ・新しい応援グッズへとアップサイクル
- 捨てるはずだった想いのこもったグッズを「ループ」ループさせることで、あの日の声を、あの日の想いをもう一度ファンとチームにお届けする取り組みです

ITONAMI様との取り組み事例

「FUKKOKU」 回収デニムプロジェクト



ITONAMI様との取り組み事例

「FUKKOKU」回収デニムプロジェクト

回収

ITONAMI様
100拠点
3888点回収
デニム製品

運搬
分別

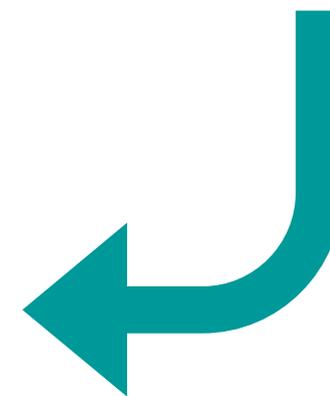
ITONAMI様
1075kgの入荷
自前での
付属品取り外し

反毛・紡績

クラボウ
安城工場
デニム向け
太番手紡出

織布
裁断・縫製
仕上げ・検品

協業企業



付属品の取り外しが**大きな課題**



自治体との取り組み

「生活者とL[∞]PLUS」－自治体との共創を模索

- ・ 1年間で可燃・不燃ごみに出される衣服の総量は508,000トン



焼却・埋め立てられるもの95%、484,000トン！

この廃棄衣料を少しずつでも削減できないか？



クラボウの工場がある安城市へお声掛けし、共創による廃棄衣料の削減とともに、回収事業の出口戦略と地域活性化が両立できないかを模索中。

■愛知県安城市 × L[∞]PLUS

地域活性化・エリアでのファンづくり



■安城市「安城七夕まつり」

◎取り組み内容

毎年夏に実施されている「安城七夕まつり」と、クラボウ安城工場のコラボプロジェクトとして、『Tシャツがタオルに生まれ変わる!? 『安城七夕まつりTシャツ回収大作戦!』が開始されています。

このプロジェクトは、市民の皆さんから集めた過去の七夕まつりTシャツをクラボウが加工・反毛し、2023年に実施される七夕まつりのボランティアに配布するタオルにアップサイクルするというものです。

2022年12月時点では、市内各所でたくさんのTシャツが回収されており、クラボウの安城工場に届き次第、再資源化に向けた加工がスタートします。



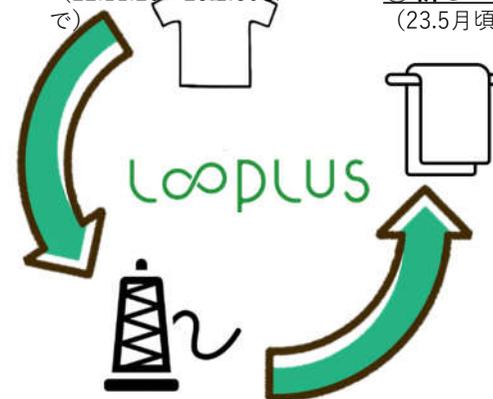
■クラボウ安城工場

サステナブル技術の本拠地。ここで反毛します。

①古いTシャツを回収

(22.11.26~23.1.30まで)

③新しいタオルに!
(23.5月頃完成予定)

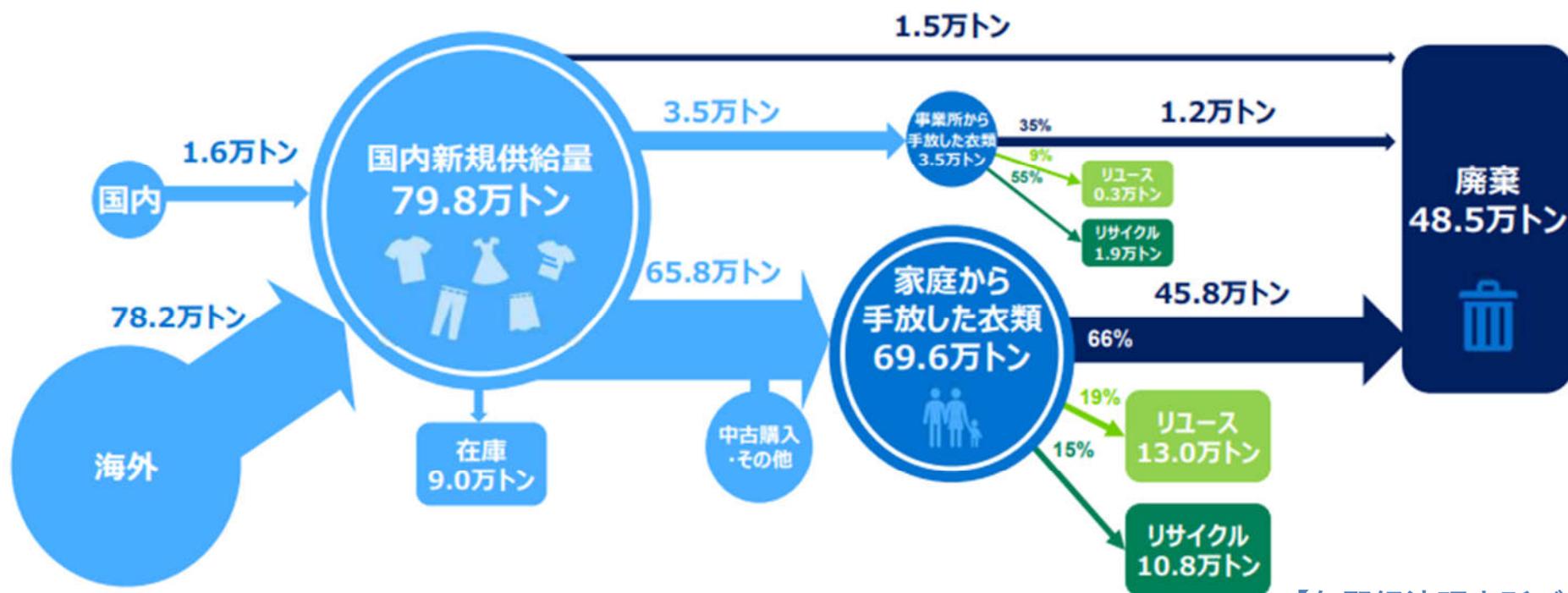


出来上がり！が楽しみ！

②クラボウが加工
(23.2.1~)

- 衣類の国内新規供給量は計79.8万トン（2022年）に対し、その約9割に相当する計73.1万トン（69.6万トン+3.5万トン）が事業所及び家庭から使用後に手放されると推計。
- このうち、廃棄される量は計47.0万トン、手放される衣類の64.3%
リサイクルされる量は計12.7万トン、手放される衣類の17.4%
リユースされる量は計13.3万トン、手放される衣類の18.1%

2022年版 衣服のマテリアルフロー



【矢野経済研究所データより】

●JSFAとは

ジャパンサステナブルファッションアライアンス（略称:JSFA）は、各企業においてサステナブル・ファッションに向けた取り組みが進められている中、個社では解決が難しい課題に対して、共同で解決策を導き出していくための企業連携プラットフォームです。

活動目的

ファッション産業が自然環境及び社会に与える影響を把握し、ファッション及び繊維業界の共通課題について共同で解決策を導き出し、サステナブルなファッション産業への移行を推進することを目的とします。

活動方針

会員企業が定期的に会議を開催し、サステナブルファッションに関する知見の共有、ファッションロスゼロ・カーボンニュートラルに向けた協働、国内外の重要動向の先行把握、業界内の共通課題を改善するために必要な政策提言を行います。

1.パリ協定に賛同し、脱炭素型へのビジネスの移行を促進する。
(逆行する事業については脱却に努める)

2.2050年迄のネットゼロ宣言やRE100、EP100, EV100等への参加に努める

3.サプライヤー・顧客に働きかけ、バリューチェーン全体の透明化に努める。

4.適量生産・適量購入・循環利用を推進する。

5.アライアンスの一員として、政策関与やサステナブルファッションの協働に賛同・協力する。



♂ ♀ L∞P LUS

